

SIRIUS PAPER

Vol.5

シリウスペーパー第五号！

シリウスペーパーは、シリウスライティングオフィスが3か月に一度発信する新聞です。お客様や関係会社のみならず、みなさまとのコミュニケーションツールとして、この新聞を通して、少しでもお近づきになれたらと思っています。

SIRIUS
OFFICIAL
INSTAGRAM



シリウスでは最新のお仕事の写真をインスタグラムにアップしています！

Follow me!

facebook も
随時更新中！

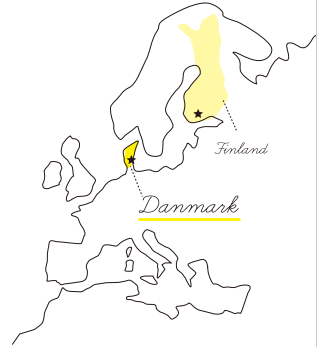


COMPANY TRIP

2016.5.26-6.1

北欧社員
研修旅行

Vol.2 デンマーク編



今回は北欧研修旅行のデンマーク編です。私たちが訪れた首都コペンハーゲンは、古い街並みの中に近代的な建物が建ち、新旧が美しく融合した都市でした。フィンランドに比べるとはつきりした色の建築やサインが多かったように感じます。私たちは日中に BIG の house やザハ・ハディッドのオードロップゴー美術館など近代建築を中心に訪れ、夜は中心市街地の光を見学しました。特にニューハウンでは、赤や緑の光が建物や水面に反射して作り出す独特な世界にスタッフも長く浸りました。夜遅くまで多くの人々が光の下に集まり、フィンランドとは違った北欧都市の姿を見る事が出来ました。



23時頃のニューハウ。運河沿いに飲食店が並び、平日深夜も多くの人で賑わっている。



NØRREPORT STATION

ノアポート駅

Norreport station はコペンハーゲンで最も乗降客数が多い、コンクリートの大屋根と広い駐輪場が特徴的な駅です。日本のようにダウンライトやグレアの強いポール灯は使用されず、大きな光柱と大屋根を照らすアップライトで駅前の明るさを確保していました。駐輪場ではポラード照明が使用され、屋根のあるエリアと無いエリアで種類を使い分けていました。屋根のあるエリアでは、上方向へ光を放つポラード照明が設置され、屋根からの反射光で駐輪場の照度を確保し、屋根の無いエリアでは周囲を照らす全方向タイプのポラード照明が設置されていました。床面照度を取る事を目的とした日本の下方向な照明計画とは違い、全体として明るさ感を確保する照明計画となっており、夜の街の中で駅がシンボリックに浮かび上がる姿が印象的でした。



アップライトされた駐輪場の屋根、床面照度は15lx程度だがアップライトされ白く浮かび上がったコンクリート屋根のおかげで、体感的には測定値より明るく感じる。

LOUIS POULSEN

ルイスポールセン社訪問

建築・照明設計の他に、ルイスポールセン社ショールームを訪問しました。ウラ・リーマー氏にデンマークの文化や生活についてレクチャーして頂き、街歩きだけでは見えてこない歴史的・文化的背景から、デンマークの人々の灯りの考え方やルイスポールセンの照明について学びました。ショールームでは大きな色々の異なる器具が並んでおり、普段なかなかお目にかかれない贅沢な展示にスタッフも目を輝かせていました。



器具についても一つ一つ丁寧に説明して頂き、理解を深める事が出来ました。

Louis Poulsen [ルイスポールセン]

1874年に設立したデンマークの照明ブランド。代表作にポール・ヘニングセンがデザインしたPH5シリーズがある。世界で人気のある高級ブランドで、日本にもショールームが置かれている。



COBE ARCHITECTS [コープアーキテツク]

2005年に設立した設計事務所。コペンハーゲンとベルリンに拠点を置く。ノアポート駅は2009年に行われた改修設計コンペにて優勝し、2015年に竣工した。

社内報告会



帰国後、現地での視察をまとめた報告会を日本・香港合同で行いました。ルイスポールセン社の高橋氏・後藤氏にもご参加頂き、北欧建築と照明について意見や感想を出し合いました。旅行を締めくくる充実した時間を持つことができました。